

令和6年度 岐阜県肝炎対策協議会 議事概要

開催日時：令和7年2月3日（月） 14：00～15：00

開催方法：Web（Zoom）

1 協議事項

(1) 岐阜県における肝炎ウイルス検査の実施状況について

富田委員：特定感染症検査等事業において、飛騨地区が1名1施設とあるが、検査数が少ない理由は把握しているか。

事務局：県が委託している肝炎ウイルス検査の結果をもって検査を行った施設を把握しているのみで、個別に委託している施設に問い合わせは行っていないため、検査数が少ない理由については、把握しきれていない。

富田委員：おそらく飛騨地区が肝炎の患者が少ないわけではないと思う。以前は、高山地域で積極的に、高山日赤の先生を中心に行っていたかと思う。該当の検査以外で対応していた場合は、行政が行う該当の検査数に含まれていない可能性があるかもしれない。状況を確認していただき教えていただきたい。場合によっては、飛騨地区に働きかけをした方がいいかと思う。

事務局：承知した。

杉原委員：健康増進事業は検査を受ける人数が多い事業であるが、人口が多い市町村での受検率が低いことから、ここをテコ入れすることは重要だと思う。県は直接、市町村に対して働きかけを行う予定はあるか。また、以前に健康増進事業を受けている方の年齢分布を調べた結果、岐阜県は40歳の方に力をいれているが、41歳以上の高年齢層の受検比率が全国的にみると高くない状況だった。陽性率が高い高年齢層の方への受検率を向上させる対応が必要だと思う。さらに、市町村では未受検者を把握していると思われるので再度、個別勧奨の推奨を検討いただきたい。

清水委員：資料にある市町村ごとの受検数グラフは、インパクトのあるものだと思う。市町村に提供して健康増進事業における肝炎ウイルス検査の状況を把握していただくのは良いと思う。また、岐阜市、大垣市等との連携については県として何か対応をされているのか。

事務局：県として、現状は大きな動きはできていないため、市町村ごとのグラフを提供し、市町村へ働きかけを行っていきたい。また、受検者の少ない市町村には個別で働きかけていくことも検討している。

清水委員：市町村の中には、受検数が多いところもあり、成功事例等の共有やポイントを確認し、受検数の少ない市町村とも共有できる流れを作れると良いと思う。また、特定感染症等検査について、開業医が集まる場で紹介いただき、状況をみていただくと広まるのではないかと思う。資料については公開されているものなので、他方に出しても問題はないか。

事務局：資料については、県HPに前年度の当協議会のものは掲載をするため、他方で活用いただいて問題はない。

三輪委員：毎年、人口が多い地域の受検率が上がってこないことは気になっているところではある。人口が多い地域の受検率が上がれば、掘り起こしに繋がると考えて県医師会として周知等

は行っているが、効果が出ていない。市町村や医療機関へ直接的に働きかけを行えないかと思っているため、感染症対策推進課や肝疾患診療支援センターとの協力、相談を考えていたところである。

清水委員：資料を漠然と見せるよりも、ある程度個別の働きかけが重要ではないかと思う。

(2) ウイルス性肝炎患者等の重症化予防推進事業の実施状況について

杉原委員：フォローアップ事業については、受診及び受療のステップで重要な事業であると考える。

そこで1つ質問と1つ追加をお願いしたい。質問は、初回精密検査事業の利用率の健康増進事業と特定感染症検査等事業との比較において、令和2年までは特定感染症事業の利用率が高かった理由は、当方の見解として県の検査申込書の段階でフォローアップの同意を得る方式に変更した結果かと思う。ただし、令和3年度以降は健康増進事業の方が増加している。この理由について把握しているか。例えば、健康増進事業について市町村でも検査申込の際にフォローアップの同意を得る方式にしたので増加しているのか。また、特定感染症検査事業が逆に下がっている原因について把握しているか。

事務局：質問について、この場ではすぐに回答することができないため、調査して改めて情報共有させていただきたい。

杉原委員：重要な事業なので情報共有をお願いする。追加について、県の報告になかったので当方から追加で情報共有させていただきたい。フォローアップ事業の対象者の拡大で職域検査は早い段階から対象となったが利用者がほとんどいない状況であった。令和5年11月に県から県内の24の健診施設等に向けて職域検査における肝炎ウイルス検査に関する協力の依頼をしている。内容は、陽性となった方にフォローアップ事業や初回精密検査の案内等を配布していただくように協力を依頼するものである。この取組みの結果及び評価については、今後また報告をいただきたいと思います。取組み自体は必要なことだと思う。現状、健診施設に来所される約8割の方が職域検査であることから結果も含めて今後もこの取組み継続を検討いただきたいと思います。

清水委員：特定感染症検査等事業の案内について、ここ数年変更はなかったか。変更がないなら受検者が減少した結果について気になる場所である。また、妊婦健診について、岐阜県の陽性者は、出生数からおそらく5～6人いるかと思われるが、県として妊婦健診の陽性者数は把握できないのか。

杉原委員：岐阜県内の出産数は年間1万2千人ほど、清水先生のおっしゃる通り、陽性者は年間5～6人程度だと思う。人数は少ないが申請数が0件ということは初回精密検査に繋がっていないということである。県産婦人科医会においても説明させていただいているが件数が繋がっていないことは残念である。妊婦の方は多くは若年層と思われるので、拾い上げとしては重要だと思う。

事務局：妊婦健診については、県の事業の一環ではないため、感染症対策推進課で妊婦健診の陽性数を把握することは困難であるが、ほかの関係課で把握しているかもしれないので確認し妊婦への初回精密検査の利用を促進できる取組みを考えていきたいと思う。

清水委員：職域に関しても県で情報を把握することは困難ということではよろしいか。

事務局：職域に関しては、関係する課がないため、把握することは難しいと考える。

三輪委員：それぞれの検査事業において、受療の部分について見落としがあるかと思う。検査が陽性となった方でその後の治療につながっていることを示す全体のデータはあるか。受検数について、年々減っていることはわかるが、この事業に参加していない方で直接、医療機関を受診している方や治療をしている方もいると思う。これらの事業の本来の目的は、ウイルス性肝炎患者の早期発見、早期治療のための1つの手段であって、拾い上げの受検から受療までの全体が伸びていることが重要だと思うがいかがか。

杉原委員：三輪先生の回答になるかはわからないが、フォローアップ事業の参加者には、アンケート調査が行われ、1年の間で肝臓の病気で医療機関を受診したかの質問に回答されている。結果として毎年、約8割の方が受診し、さらに約6割が既に治療を受けているか完了していると回答している。フォローアップ事業に参加した方の結果は確認できるかと思う。

三輪委員：フォローアップ事業の参加者は結果が確認できていることは分かるが、参加していない方で陽性の方で受検部分の検査事業で陽性となった方が、どれだけフォローアップ事業に参加しているのか県で把握できているか。ただ、フォローアップ事業を利用されていなくても全体を通して治療に繋がっていれば、まずはよいかと考える。

事務局：県ではフォローアップ事業を通してでしか陽性者の受療状況は把握できない。また、フォローアップ事業に参加されていない方は、その後の受診状況等は県では把握できないため、データ等もない。

三輪委員：それは、特定感染症等検査事業だけのことか。それとも、市町村が行っている検査についても分からないということか。

事務局：感染症対策推進課の行う事業についてである。また、市町村が行う健康増進事業については、県の担当課が別にあるため、確認することはできるかと思う。

三輪委員：肝炎対策の流れの範囲の中で改善したいという思いはあるかと思うが、範囲の外にある手が届いていない範囲もあるかと思ったので、そのことについての確認であった。

富田委員：妊婦健診について、保健師の方に教えていただきたいことがある。職域検査などはワンポイントの検査であるが、妊婦健診は、定期的に健診を行うかと思う。その場合、婦人科の先生の方でフォローされているため、初回精密検査を別で受けるようなことはないのではないかと思う。妊婦健診における肝炎ウイルスの陽性の方はどのようなフォローをしているのか。

柚原委員：自身の担当は高齢者部門となるため、詳細について状況が分からないが、妊婦健診の際に肝炎ウイルス検査の受診券は発行されるため、病院で検査を実施し、陽性となった場合は、医療機関でフォローを行うこととなると思う。

富田委員：初回精密検査については、産婦人科医院で受けているということによろしいか。

柚原委員：検査を受けられる体制であるかと思う。

杉原委員：妊婦健診の多くは、クリニック等で肝炎ウイルス検査を受けることになるかと思うが、助成対象となる初回精密検査については、肝疾患専門医療機関でしか助成を受けられないため、産婦人科医院から紹介状をもらって初めて対象の検査を行うことができるものである。紹介状等についても簡便なものが準備されて利用できるようになっている。

富田委員：ならば、妊婦健診からの初回精密検査が0件ということは、産婦人科医院から肝疾患専門医療機関への紹介がされていないということによろしいか。

杉原委員：0件ということは、フォローアップ事業には繋がっていないということである。繋がらない理由としては、紹介されていない場合や紹介されても受診していないこともあるだろうし、初回精密検査を受けてもフォローアップ事業には同意していないため助成対象となっていないなどいくつかの理由があるかと思う。いずれにしても初回精密検査費用助成には繋がっていないということである。

中村委員：岐阜市は妊婦健診で陽性となった人に、フォローアップ事業担当課から連絡し、制度の紹介(代理加藤)介や受診状況の確認を行っている。岐阜市医師会産婦人科医会等に協力いただき、妊婦健診を実施する医療機関には、保健所への情報共有と、陽性者に保健所から電話があることについて本人の同意を得ていただくよう依頼している。

清水委員：三輪先生のお話を考えると、受療を受けた方から遡って、どこで陽性となったのか、フォローアップに参加していないが治療に繋がった等を受療した方から個別に調べていくと実情を確認することができるかもしれないと考える。現状の岐阜県では受療している方は約100名ほどいるかと思うが、その方たちを個別に追うと肝炎対策の流れから漏れている方や外れている流れが確認できるかもしれないと考える。

(3) 肝炎治療特別促進事業及び肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業の実施状況について

清水委員：肝がん・重度肝硬変の制度が変わり、国としてももっと対象者がいるだろうと考え、令和6年度には条件がさらに緩和され、実際に伸びているところかと思う。国や県の試算では岐阜県にはもっと対象者がいると考えているか。例えば人口200万人なら40人程度はいると考えているのか。岐阜県の意見を聞きたい。もし、試算数よりも現状が少ないようであれば、案内不足か施設数の不足が考えられるがいかがか。

事務局：県としての試算は、十分にできていない状況である。ただし、条件が緩和されたことでさらに申請数は伸びるものと考えている。

清水先生：疫学的には、条件緩和の際に予算の試算をするにあたり岐阜県の対象者患者数を計算された結果だと思われる。岐阜県ではこのぐらいと試算したデータの数と比較してどうなのか検討いただきたい。制度の仕組みの難しさから申請数が伸びていないのではないかと推測する。

2 その他

中村委員：資料2について、本協議会での健康増進事業の受診率が低いという意見を受け、40歳以上(代理加藤)の人に個別勧奨を実施した。その結果受診率が増加した。来年度以降はさらなる受診率向上を目的に、40歳以上の全ての人を健康増進事業の対象とし、5歳刻みで個別勧奨を行っていくことを検討している。特定感染症等検査事業は、医療機関での実施を廃止し、保健所のみで行っていく。

清水委員：大切な取り組みありがとうございます。

山田委員：県の保健所として特定感染症等検査事業を担当している。令和2年から令和4年について(東濃HC)コロナ過で検査機会の減少となったかと思う。今後の新興感染症発生時に検査機会を確保できるように検討を行っている。また、健康増進事業での検査数がスクリーニング観点から重要と考える。管内の多治見市について検査数が少ないと結果が出ているので個別に働

きかけを行っていきたいと考える。それに合わせて市町村として単年度の検査数で比較するよりもある程度累積した検査数で評価する必要があるかと考える。

清水委員：ぜひ、そのような評価方法を県で検討いただきたい。また、岐阜市の取組みについて、県医師会等の関係機関にもしっかりと周知いただき、混乱が起きないようにしていただきたい。

杉原委員：岐阜市の新しい取組み方について、非常に良い取組みだと考える。5歳刻みの個別勧奨は平成14年から平成18年に行われた節目健診と同じ状況となるため、受検者の増加、陽性者の拾い上げが期待できる。ぜひ県でも岐阜市の取組みを人口の多い市町村にも周知いただきたい。岐阜県は41歳以上の検査比率が少ない状況だったので、この取組みにより陽性率の高い高年齢層から拾い上げることができるのではないかと考える。

清水委員：1つ伺いたいことがある。本協議会ではウイルス性肝炎について取上げているところだが、肝炎にはアルコールを起因とするものもある。アルコールについては、感染症対策推進課とは関係がないものか。県は、ほかの部門が統括されているのか。

事務局：感染症対策推進課は、ウイルス性肝炎を所管している。アルコール性の肝炎については、保健医療課が所管になるかと思われる。

清水委員：ウイルス性肝炎については、引き続き感染症対策推進課と一緒に対応をしていくが、アルコールの健康障害に関して、対応する必要が疫学的にも明らかになっている。肝炎のエキスパートの医師や保健所の責任が重くなっていることからこの場を借りて確認させていただいた。以上で本協議会を終了する。